

テキスト科目

授業要項(シラバス)

2022年度

授業要項（シラバス）

この冊子には、テキスト科目授業要項（シラバス）を収録しています。

テキストを用いて学習する前には、必ず目を通して、概要や学習目標などを確認しましょう。

テキストを使ってどのように学習をすすめるのかについては、『テキスト学習のしおり』の「テキスト学習の取り組み方」の項に掲載しています。また、参考書やレポート設題については『テキスト科目レポート設題集』、学習する際のポイントは『学習の要点』にそれぞれ掲載しています。必要に応じて、これらの冊子を参照しながら学習を進めてください。

基礎分野

物理学	1
化学	2
生物学	3
論理的思考演習	4
生命と倫理	6
教育と人間	8
生涯発達論	10
家族と社会	11
生活と法	12
カウンセリング論	14
医学英語	15

専門基礎分野

看護解剖生理学	16
生化学	18
症候論	20
病原微生物学・免疫学	21
薬理学	23
公衆衛生学	25
保健医療福祉総論	27
関係法規	28

専 門 分 野 I

■ 基礎看護学

看護学概論	30
看護対人関係論	32
看護行為論	34
看護と研究	36

専 門 分 野 II

■ 成人看護学

成人援助論	38
-------	----

■ 老年看護学

老年援助論	40
-------	----

■ 小児看護学

小児援助論	41
-------	----

■ 母性看護学

母性援助論	43
-------	----

■ 精神看護学

精神援助論	45
-------	----

統 合 分 野

■ 在宅看護論

在宅援助論	47
-------	----

■ 看護の統合と実践

看護過程演習	49
看護管理	50

〈ここに掲載していない講義（授業）要項について〉
スクーリングの講義要項は…『スクーリングのしおり』
臨地実習の講義（授業）要項は…『臨地実習のしおり』
にそれぞれ掲載しています。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
物理学 (81101000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	田中 正義

①概要・ねらい

物理学は学生に最も敬遠される科目の一つですが、物理学と看護学との関連性はとても深いです。

内容としては移動や体位変換に関わる力学や、さまざまな装置に関連した圧力や熱に関する熱力学を中心に、光や音などに関する波や放射性同位元素などについて学びます。数式を用いずにこれらを説明するのは非常に難しいので、数式は利用しますが、あまり難しいものは使いません。

看護技術を単に丸覚えするのではなく、背景にある事柄について物理学的な思考ができるようになるためには、教科書にある法則等の説明や具体例を読み込んで、1つ1つの項目をしっかりと理解することが大切です。

②学習の到達目標

- ・力学では、ニュートンの運動の法則を元に、力の合成・分解、力のつりあい、力のモーメント（てこの原理、トルク）、摩擦力の働き方等について理解する。
- ・圧力、熱では、ボイル・シャルルの法則、空気の圧力、熱量の計算方法等について理解する。
- ・波では、光の屈折やレンズについて、ドップラー効果等について理解する。
- ・溶液の濃度、pH、放射性同位元素等について理解する。

③授業時間外の学習

教科書では数学として微積分は使われていませんが、三角関数、対数等は使われています。これらの数学から離れて久しい方は、高校の教科書や参考書を利用して、思い出してください。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

物理学を学ぶ上で覚えなければいけない事柄は、他に比べると少ないと思いますが、具体的なイメージを頭で浮かべていってください。ノートを作る場合も手で図を書いてみることは大切です。

【テキスト修了試験の対策】

学習の際の計算は電卓等を利用してもらって結構です（ただし試験を受験するときはプログラム等を保存できない電卓を使用してください）。EXCEL等の表計算ソフトを利用すると数値を変えて試してみるということが簡単にできますので、利用法の習熟を兼ねてチャレンジしてみてください。

⑥教科書・参考書

教科書：平田雅子著『完全版 ベッドサイドを科学する 看護に生かす物理学』学研メディカル秀潤社

参考書：平田雅子著『JNNスペシャル No. 64 臨床看護のなるほど！サイエンス』医学書院

平田雅子 松木光子著『改訂 看護技術の物理学的考察』メヂカルフレンド社

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
化学 (81102000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	酒井 健雄

①概要・ねらい

医療職として働くうえで時として患者からの質問に答えなければならない場面が生じる。こんなとき化学的なものの見方や考え方が備わっていると助かる場合が結構多いものである。患者の素朴な疑問に対して化学的な説明ができることが一つであれば患者からの信頼感が増すことが期待できる。この科目では化学の基礎的知識が臨床でも役立つことを考え課題や問題を作成してある。肺胞や組織でのガス交換、浸透圧と透析、酸塩基平衡とアシドーシスなどは、基礎知識があればすべて化学的に説明できる事柄である。しかし、その前に原子の構造や化学結合に関する基礎知識がないと納得できる説明ができない。少しなじみが薄いかもしれないが、前半の「物質の構造・状態と性質」のところも十分目を通して欲しい。

②学習の到達目標

化学の知識はいろんな医療行為の裏付けとなっている。医療職に携わる者は時として患者からの疑問に化学的な説明を求められることがある。化学の基礎知識を生体に応用して簡単な化学的説明ができることを目標とする。

③授業時間外の学習

高校化学の参考書あるいは教科書があれば手元に置いてほしい。大学のテキストで解らない事柄を調べるのに役立つ。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

現場での仕事と化学を結びつけるように意識して欲しい。注射液を2種以上混合するときは溶解度積に注意しないと沈殿を生じたりすることがある。例えば下剤の硫酸マグネシウムや酸化マグネシウムなどの作用機序も浸透圧という概念で説明できる。

これらの現象を、学習を通じて理解することで化学への親近感も増すのではないかと期待する。

【テキスト修了試験の対策】

試験は論述式を中心にするが計算を伴う場合もある。

問題によっては○×式、穴埋め式も採用する。「学習の要点」（問題集）についてよく調べて自分の言葉で解説されていることが大事でしょう。

⑥教科書・参考書

教科書：津波古充朝 他『コ・メディカル領域の化学』三共出版

参考書：「理化学辞典」岩波書店

「医学大辞典」南山堂等の医学系の辞書類

化学入門の大学用テキスト類、高校化学の教科書または参考書

⑦メッセージ

日頃何気なく行っている事柄も化学的に考えれば納得がいくことが多い。なるべく現場での実例を化学的に考える機会となることを期待します。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
生物学 (81103000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	笹井 隆邦

①概要・ねらい

自然界に生存する生物の生命現象は実に不思議である。多くの生物が関係しあいながら生命を維持し、子孫を残そうとしている。本講座では、生命体の基礎となる細胞から生殖、生命体の維持、環境とのかかわりまでを理解することを主旨とする。

1. 生命体のつくりとはたらき
2. 生体維持のエネルギー
3. 細胞の増殖とからだのなりたち
4. 生殖と発生
5. 遺伝情報の伝達と発現のしくみ
6. 個体の調節
7. 刺激の受容と行動
8. 生命の起源と進化
9. 生物と環境のかかわり

②学習の到達目標

生物のからだのつくりから環境とのかかわりまで、一般的な生物学の知識を習得、理解することにより、生物種の中の1種である“ヒト”について考える。

③授業時間外の学習

特になし

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

ヒトを含めた全ての生物、環境に目を向け“生命とは何か”を常に考えること。また、身の回りの自然に興味を持ち、関連書物、インターネットなどで知識を深めることも必要。

【テキスト修了試験の対策】

試験は、「学習の要点」の20問から複数の関連する問題を出題する。

出題問題の真意と中心となる点を把握し、全問題についてテキスト、参考書、インターネット等を活用して要点をまとめおくこと。

⑥教科書・参考書

教科書：高畑雅一 他『系統看護学講座 基礎分野 生物学』医学書院

参考書：特になし

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
論理的思考演習 (81104000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	神田 大輔

①概要・ねらい

この授業の目標は、論理的な文章の書き方を学ぶことです。論理的な文章というのは、小説やエッセイのように、読み手の心に何らかの「感情」を起こすことを目的とした文章ではなく、読み手に何らかの情報を伝えたり、書き手の意見を伝えたりすることを目的とした文章全般を指します。この通信教育課程で提出しなければならないレポートがそれにあたります。

論理的な文章を書くために特別なテクニックは必要ありません。例えば、エッセイや小説であれば、気の利いた書き出しや上手な言い回しが必要です。そうでなければ読み手の心に感情を起こすことができないからです。しかし、論理的な文章では、そうしたテクニックは不必要なばかりか、主張を正しく伝えるための妨げになります。むしろ論理的文章には、ある程度決まった型にそって書いた方がよいとさえ言えます。この授業で学ぶのは、まずそうした型です。

ただ、文章を書くことは、よく誤解されているように、先に「考え」を作り上げて、それを書き写すことではありません。必要なのは、書きながら考えることです。しかし、論理的な文章を書くためには、論理的に考えることが必要です。したがって、この授業で学ぶのは論理的な文章を書くためのこの論理的な思考の方法でもあります。

具体的には、テキスト批評という方法を使います。まずある論文を読んで要約し、その上で自分なりの問題を提起して議論を展開させる方法です。その過程で、論理的な文章の型と、論理的に考えながら書くことを学んでいただきたいと思います。

〈学習項目〉

- 1) 論理的な文章とは何か（序論）
- 2) 論理的な文章の書き方（第1部）
 - I 用紙の使い方
 - II 語について
 - III 注と文献表
 - IV 文について
 - V 文と文—論理学の基礎
 - VI 段落と全体の構成
- 3) 論理的な文章の読み方（第2部）
 - I 文献の探し方
 - II 文献の読み方

②学習の到達目標

テキスト批評を通して、論理的思考と、論理的な文章の書き方を学びます。

③授業時間外の学習

特になし

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験（テキスト修了試験はレポート形式の答案を郵送提出する方法で受験する。）

※この科目のテキスト修了試験は、所定の期日までに答案を大学へ郵送する形式で実施します。TOKIWA CCN SYSTEMを利用した試験は実施しません。

⑤履修上の注意など

まずは、テキストをよく読んでください。その上で、レポートの課題を考える中で、再びテキストを参照してください。

【テキスト修了試験の対策】

テキストの第1部「論理的な文章の書き方」をよく読んでから、まとめてください。タイトルもつけてください。テキストの意見と自分の意見を比較しながら、「主張－理由（根拠）－証拠」を書くことです。「主張－理由」までは比較的簡単ですが、その理由を裏づける「証拠」を出す必要があります。そのためには次のような作業が必要です。

- (1) 「証拠」となるデータや専門家の論文などを探し出してくること。図書館やインターネットで資料を探すことが必要です。
- (2) 自分の考えの反対意見を考え、それに対してどのように反論するかを考えること。この場合も、(1)と同じ様に、資料を「証拠」として使うことが有効です。レポートの第一課題と第二課題の添削によって指摘された点、とくに何が資料として足りないのか、組み立てとして何が悪いのか、論理的な文章にするためにはどのようにすればよいか等に注意してください。その上でとくに、全体の構成に注意しながらまとめてください。
- (3) 著者の主張、それに対する批判、賛成か反対かの意見とその理由を箇条書きにするのではなく、つながりに気をつけて、一つの論文としてまとめてください。

⑥教科書・参考書

教科書：松葉祥一 著『ナースのための実践論文講座』人文書院

参考書：教科書の「ブックガイド」の項をご覧ください。

⑦メッセージ

他の科目のレポートを書くために、是非受講してください。それだけでなく、論理的思考は、合理的な看護実践を行うための基盤です。なぜなら論理的であるということは、理由（ロゴス）があること、言い換えれば合理的であることだからです。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
生命と倫理 (81201000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	中野康次郎

①概要・ねらい

生命科学や医療技術の進展にともない、これまで自然の運命にまかされていた人間の「生命」に対して、ある程度人為的な操作を加えることが可能になってきています。しかし、どのような操作を加えるのか（あるいは加えないのか）を決断するとき、そこには技術的な問題だけではなく、倫理的問題も存在します。このような「生命」に関する倫理的問題は、現代に生きるすべての人間が考えるべき問題ではありますが、特に医療に従事する人間にとっては避けられない問題でしょう。

本講座では、看護学生向けに書かれたテキストを用い、減数（減胎）手術、代理母出産、出生前診断と選択的人工妊娠中絶など、生命倫理に関わる様々な問題について受講者に考えてもらいます。

②学習の到達目標

生命倫理において議論される様々なテーマについて、いったい何がどのように問題であるのかを整理して理解できるようになる。そして具体的な場面に遭遇したときに、自分で考えて行動できるようになる。

③授業時間外の学習

生命倫理に関わるようなニュースに関心を持ってチェックするようにして下さい。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

まずはテキストを丁寧に読んで下さい。ちなみにレポートの設題と、テキスト修了試験の問題は異なります。レポートの設題と関係する箇所だけを拾い読みするのではなく、テキストで取り上げられているすべてのテーマについてよく考えて下さい（どの章から読み始めても構いませんが、どのテーマも興味深いものだと思います）。

レポートおよびテキスト修了試験は、与えられたテーマに関する問題点の整理と、そのテーマに関する各自の考えを書いてもらいます。レポートや試験の答案を作成する際、テキストを要約する部分と、自分の考えを述べる部分を明確に区別して書くように意識して下さい。

【テキスト修了試験の対策】

テキスト修了試験の問題と、レポートの設題は異なります。しかし、レポート作成の延長線上にテキスト修了試験があります。まずはレポートの作成に全力を尽くして下さい。その際、『テキスト学習のしおり』の「3. テキスト学習の取り組み方」をよく読んでおいて下さい。その中でも特に「レポート学習」の「(3)表現形式の検討」は必読箇所です。そこで書かれている項目だけですが、重要ですので以下に記します。

- A) やむを得ない場合を除いて長文を使用しない
- B) 専門用語を正確に使用する
- C) 論旨を明確にする
- D) レポートの下書きを必ず作成する
- E) 教科書・参考書の書き写しは絶対に避ける

以上のことはレポート作成だけでなく、テキスト修了試験にも当てはまります。必ず読んで実践して下さい。

⑥教科書・参考書

教科書：小林亜津子 著『看護のための生命倫理〔改訂三版〕』ナカニシヤ出版

⑦メッセージ

「生命」に対する人為的な操作が可能となっている現代において、受講者の皆さんは様々な立場でその「当事者」となる可能性があります（「看護者」として、「患者」として、「患者の家族」として）。受講者の皆さんにとって、この講座が生命倫理の問題を考えるきっかけになれば幸いです。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
教育と人間 (81202000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	伊藤 崇達

①概要・ねらい

教えるということは、人の学びや成長を支える営みであり、看護におけるケアの概念に通底している。そのような人と人のかかわりにおいては、人間を本質的に理解しようとする力が求められる。本科目では、人が「学ぶ」ということ、「教える」ということがどのようなことであるのかについて、心理的側面、とりわけ動機づけの側面に着目しながら理解を深めていく。具体的には、以下の内容から構成される。

(1) 「学ぶ」ということ

発達と教育の本質
動機づけとは何か
自ら学ぶ力
関係性と動機づけ

(2) 「教える」ということ

教師のあり方
教育評価
授業実践
教室環境

②学習の到達目標

人が「学ぶ」ということ、「教える」ということについての理解を深め、人間を本質的に捉えていく力を身につけることを学習の目標とする。

③授業時間外の学習

「学ぶ」ということ、「教える」ということに関して自らの経験や考え方についてリフレクションをしておく。また、参考図書を中心に教育やその心理をテーマとした図書にふれておくようにする。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

「学ぶ」ということ、「教える」ということについての自らの経験や実践を絶えず内省し、学んでいる内容と意識的に結びつけていく態度が求められる。また、キャリア形成の見地から、学問的な成果を支援や実践にどのようにつなげてゆけばよいか、自ら考え続ける姿勢を持つ努力が必要になる。

【テキスト修了試験の対策】

テキストを熟読の上、レポートを含めて学んだ内容とそれについての自分の考えをまとめる訓練を積んでおくといよい。試験問題は、手短かに論述してまとめる形式で出題される。

⑥教科書・参考書

教科書：伊藤崇達 編著『やる気を育む心理学』北樹出版

参考書：鎌原雅彦、竹綱誠一郎著『やさしい教育心理学』有斐閣アルマ

市川伸一著『学習と教育の心理学』岩波書店

速水敏彦他編『生きる力をつける教育心理学』ナカニシヤ出版

加藤司編著『心理学の基礎－新しい知見とトピックスから学ぶ－』 樹村房
石隈利紀著『教育・学校心理学』 遠見書房

⑦メッセージ

成績評価にあたっては、学習内容の全般にわたって基礎的知識が身についているか、自分なりの考えに結びついているかどうかといった点に注目する。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
生涯発達論 (81203000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	藤井 優子

①概要・ねらい

人間の生涯をエリクソンの発達段階に従って区分し、各段階での発達危機、人格的活力、学説・知見、発達の問題とケア、現代的課題について学習し、考察する。また、生涯発達とは何か、その基本的視点についても学習する。

②学習の到達目標

生涯発達についての基礎知識を身につけ、看護の対象となる人間への理解につなげていく。さらに自分自身の生き方を捉えなおし、これからの生き方へのヒントにする。

③授業時間外の学習

まず教科書全体を読むこと。次に「学習の要点」に従って、ノートに簡潔にまとめる。興味にしたがって、参考文献を読み、理解を深める。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

必ず教科書を熟読すること。

【テキスト修了試験の対策】

論述式。「学習の要点」から関連する問題を複数出題する。③で作成したノートを活用してほしい。

⑥教科書・参考書

教科書：服部祥子『生涯人間発達論 人間への深い理解と愛情を育むために 第3版』医学書院 2020年

参考書：教科書（第3版ではpp.199～202）に紹介されている参考文献。その他、興味に従って、自由に文献を選び、読んでほしい。

⑦メッセージ

生涯発達の理論は、他者をケアするためだけではなく、自分自身を理解し、どう生きるかを考えるヒントになるものである。生涯にわたって役立つ生きた知識となっていくため、積極的に取り組んでほしい。よい学びの機会となることを願っている。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
家族と社会 (81204000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験者資格取得選択	大城 亜水

①概要・ねらい

医療・福祉の現場では様々な家族と出会います。自分の人生で身につけた常識や経験だけでは、自分と異なる家族を生きてきた人たちへの理解が限られてしまいます。そこで、本科目は日本の家族について近代家族から遡り、その変遷過程をたどりながら現代の家族が抱える問題を把握することで、より家族の内部構造の深層的部分を理解することをねらいとします。

②学習の到達目標

本科目は以下の3点を到達目標とします。

- I これまでの日本の「家族」の歴史的歩みを把握する。
- II 現代家族をめぐるどのような問題が生じ、各々の問題に対してどのような取り組みが行われているのかを理解する。
- III 自分自身の人生を「家族と社会」という視点から問い、家族の存在意義や支援の必要性について自分なりの考えをまとめる。

③授業時間外の学習

普段から家族にまつわるトピックやニュースをチェックし、自ら「問い」を立てて考えてみてください。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

テキストを熟読した後、再度各章の「QUESTION」をふり返りながら考えてください。そうすることで、家族をめぐる問題の本質的構造を理解でき、より深い知見が得られると同時に、自分自身の考えや展望を持てるようになります。

【テキスト修了試験の対策】

出題方法は、論述式です。また、試験では、「学習の要点」の20問から関連する問題を出題します。全問題について、要点をまとめておいてください。テキストを熟読するだけでは、十分な内容の答案を作成することは困難なので、参考書などを活用し、答案を作成してください。

⑥教科書・参考書

教科書：岩間暁子他著『問いからはじめる家族社会学—多様化する家族の包摂に向けて』有斐閣

参考書：1. 木下謙治監修・園井ゆり・浅利宙編『家族社会学—基礎と応用（第3版）』九州大学出版会、2016年

2. 杉田菜穂『人口・家族・生命と社会政策—日本の経験』法律文化社、2010年

3. 杉田菜穂『〈優生〉・〈優境〉と社会政策—人口問題の日本的展開』法律文化社、2013年

4. 玉井金五・久本憲夫編『社会政策Ⅱ 少子高齢化と社会政策』法律文化社、2008年

5. 畠中宗一編『よく分かる家族福祉（第2版）』ミネルヴァ書房、2006年

6. 久本憲夫・玉井金五編『社会政策Ⅰ ワーク・ライフ・バランスと社会政策』法律文化社、2008年

⑦メッセージ

成績評価の基準は、①概要・ねらいのねらいが明確で、かつ②学習の到達目標の3点を満たしているかどうかで評価します。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
生活と法 (81205000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	谷口 弘行

①概要・ねらい

私たちが日々の生活をする上で、法を意識したり法に直接かかわりをもつことは、それほど多くはない。しかし罪を犯したと考えられたときには、否応なしに刑法に基づいて判断がなされる。人々の争いを解決するために、また侵害された権利を回復するときに最後の砦となるのは、民法や各種の行政法等々の法律である。さらに、それらの背後には憲法がある。これら法に関わる問題は、最後は裁判という場で判断される。それが、私たちが住んでいる法治国家のルールである。公平な社会の秩序を維持するために、法の役割がある。

しかし一見してあるいは最終的には法律の問題であっても、単に法律の適用や解釈だけでは解決できないものは多い。政治や経済等の問題とつながっていることもある。さらには、私たちがどのような生き方をしたいか、どのような社会を創って行きたいかという理念や思想と深く結びついていることもある。

時代が変わり倫理観や社会常識が変わっていくとき、法の解釈や法そのものも変わっていく。法による問題解決には、常にこうした悩みがついてまわる。具体的な生活の場で起こる問題を、自らの問題として考えることによって、こうした法とより自由な付き合い方が出来るようになると考えている。

（注）「法律」とは刑法や民法など具体的な法のことであり、「法」とはより広く社会のルール全般をいう。

②学習の到達目標

日常生活の場で起こる具体的な問題について、法の意味や役割を考え、必要に応じて法を身近なものとして使えるようになる。その目標のための学習として、一連の流れを考えている。

- 1) はじめに、教科書を「学習の要点」で示した問題を意識しながら、通読する。これは、読みやすい入門書である。しかし法的思考になじみがないと考える人は、第6章「トラブルに巻き込まれたら」から読み始め、次に第4章の「契約や損害賠償」について読み、最後に第1章に戻る、という読み方を勧める。
- 2) 次に、設題のレポートを作成する。設題は現在の具体的な問題に関するものであり、自らの考えるところをまとめる。それによって、今後身の回りに起こる問題を自らの力で考える習慣をつける。
- 3) 最後のテキスト修了試験では、これまで自らが見聞したり体験してきた出来事の中から、法や法律を意識するような問題を見つけ、それについてまとめる訓練をする。

③授業時間外の学習

新聞やテレビなどの記事やニュースに、日常的に接する習慣をつける。特に医療技術や医療環境は日進月歩であり、それに関わる法律も変化していく。そうした問題に注意を払うようにしてほしい。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意

日常生活の中で起こる疑問や問題に対して、現在の自分の知識や常識から考え出せるものは何か。それを、自らの納得解という。その納得解は、学習や今後の体験の積み重ねによって、常に深め発展させて行くことが出来る。

【テキスト修了試験の対策】

こまかい法律用語や法律の解釈の習得が、目標ではない。それらに、こだわる必要はない。具体的な問題や事例について、自らの考えを整理し発展させる機会にしてほしい。

⑥教科書・参考書

教科書：神坪浩喜著『18歳までに知っておきたい法のはなし』みらいパブリッシング、2020年。

参考書：マイケル・サンデル著/鬼澤忍訳『これからの「正義」の話をしようーいまを生き延びるための哲学』早川書房、2010年。

上谷さくら・岸本学著『おとめ六法』（生活書・実用書）KADOKAWA、2020。

⑦メッセージ

近年、コンプライアンス（compliance）と言う言葉が強調されるようになった。

「法令遵守（ほうれいじゅんしゆ順守）」と訳されている。特に企業に、法律やその背景にある企業倫理や社会的責任を遵守することを求めるものである。それによって、企業の義務や責任を明確にすることが出来る。

現在どの職場でも、コンプライスのための教育が行われている。医療現場でのコンプライアンスは、医療を受ける者を保護するために、同時に医療に従事する者を守るためにある。コンプライアンスとその根拠となっている社会倫理を考えることを、自らの課題としてほしい。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
カウンセリング論 (81206000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	古屋 肇子

①概要・ねらい

カウンセリング論は、日常生活や看護場面においてカウンセリングをどのように生かしていけるかを考えていく科目です。私たちは、家族や友人、職場の仲間と相談し励まし合いながら生きています。日常を振り返りながら学習を進め、自己理解とともに他者との関わりを通して、「ケアとは何か」を考えることを目標とします。受講者自身を振り返るよい機会となることを期待します。

②学習の到達目標

カウンセリングの基礎的知識を学び、看護師として看護場面にどのように生かしていけばよいかを考えていくことを狙いとしている。

③授業時間外の学習

カウンセリングや心理学に関する本はたくさんあります。教科書や参考書だけではなく、理解しやすい本を見つけ、熟読して下さい。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

【テキスト修了試験の対策】

出題方法は、論述式です。「レポート設題」、「学習の要点」を中心に、基礎知識や考えをまとめて答案を作成してください。

⑥教科書・参考書

教科書：山村豊他『系統看護学講座 基礎分野 心理学』医学書院

渡辺俊之著『ケアを受ける人の心を理解するために』中央法規出版

参考書：杉山尚子他『行動分析学入門』産業図書

ロバーツ・D・ナイ『臨床心理学の源流』河合伊六訳 二瓶社

樫村通子『ここを大切にすると看護 燃え尽きを防ぐための臨床心理学』日本評論社

奥田健次『メリットの法則 行動分析学・実践編』集英社新書

⑦メッセージ

関心のある心理学の本を読み、これからの看護に生かす足がかりとしてください。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
医学英語 (81207000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	選択 必修	看護師国家試験 受験資格取得選択	山崎麻由美

①概要・ねらい

国際化が進んだ昨今、日本で生活する外国人の数は年々増えてきています。それに伴い生活上の事柄について英語で意思の伝達をすることが必要になっています。特に医療現場では相手の話を理解できること（情報を引き出すこと）とこちらからの確かな指示を出すこと（情報を与えること）が重要です。そのためには聞き取る力と表現する力をつけなければなりません。聞き取る力をつけるには、英語を聞く機会を増やすことと同時に自分で音読して発音やアクセントを確かめる必要があります。表現する力を伸ばすことは、表現の基本型を覚えることから始まります。英文を「読む」とことは違い、「聞く」「話す」というコミュニケーションの英語は文法通りにいかないこともあります。しかし表現の基本型を応用できるようにする為にはまず文法を正しく理解しておくことが大切です。

②学習の到達目標

病院を訪れる人たちと英語で意思の疎通をはかることが出来るようになることが学習目標です。診察や治療時に使う英語だけではなく、窓口での会話や道案内など病院内で使われる表現を身につけるようにします。基本的な文法や医療・病院関連の単語を覚え、自分の伝えたいことを明確に相手に伝えることが出来るように学習します。

③授業時間外の学習

毎日少しずつでも英語を聞いたり、読んだりして学習を進めて下さい。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

英語表現は覚えるまで何度も繰り返さなければとっさの時に役立ちませんし、応用もききません。また会話は双方の理解が必要ですから、相手の言っていることを聞き取ること、そして自分の伝えたいことをきちんと表現できることの2点が大切です。それらを習得するためには問題を解いた後も、英文を何度も耳で聞くことと音読練習をすることが効果的です。ただし、レポート課題とテキスト修了試験問題には聞き取り問題は出題されません。

【テキスト修了試験の対策】

テキストに出ている表現や文法を正しく理解する事が必要です。また英文を日本語に訳すると同時に、その日本語をまた英語に直せるように繰り返し練習して下さい。なお、テキスト修了試験はテキストすべてが範囲となります。レポート課題をしっかりとこえた上で、テキストの隅々まで仕上げるようにして下さい。

⑥教科書・参考書

教科書：平野美津子 他著『看護師たまごの英語40日間トレーニングキットワークブック〔基礎編〕』アルク

参考書：『メディカル英語小事典』北星堂書店（問題の解答に直接必要ではありません）

⑦メッセージ

英語の習得には日々の学習を継続させることが大切です。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
看護解剖生理学 (82101000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	澤田 浩秀

①概要・ねらい

人体を構成する基本単位は細胞です。同じ構造・働きをもつ細胞の集団を組織と呼びます。複数の組織が集まって、ある特定の機能をもつ構造物を器官と言います。同一の機能目的を果たすための器官の集合体を系統と呼びます。ヒトは約10個の系統から成り立っていますが、これらの系統が統合されて機能しているのが、個体（個人）です。

このように、構造と機能には密接な関係があります。したがって、人体を全体的に、また完全に把握するには、生体各部の形と働きの両面から追求しなければなりません。しかしながら、上記の階層構造の広さと深さ（生体構造の複雑さ）に加えて、研究技術の多様性から、歴史的に形態（形）の面から理解しようとする解剖学と、機能（働き）の面から追求する生理学に分かれて進んできたのです。

しかし、解剖学と生理学の研究が、充分とは言えないまでも、相当に達成された現在では、両者の知識を統一すべき時代に至っていると思われます。この立場から設定された科目が「看護解剖生理学」です。

②学習の到達目標

教科書の各章の冒頭に、具体的な学習目標が掲げてあります。これらを読んで、章の全体像を的確に捉えて下さい。

〈学習内容〉

最初の第1～2章には、生命を維持する基本的な機能と循環媒体である血液の機能が説明されています。

第3章以降は、ほぼ上記の系統ごとに記述が進められています。つまり、第3章は血液を全身に運ぶ心臓と血管からなる「循環系」です。

第4章は感覚情報や運動指令を運ぶ末梢神経と、これらの情報を統合し、また精神の座ともなっている脳を扱う「神経系」です。

第5章は「内分泌系」で、内臓諸器官の働きを微妙に、かつ精細に調節する種々のホルモンの機能と、それらを分泌する内分泌腺が対象です。

第6章は身体を支え、内臓を保護し、姿勢維持と運動に携わる「骨格系」と、その運動を直接引き起こす「筋系」を扱っています。ただし、生理学では、「運動系」は筋の収縮を操る神経系（大脳から末梢の運動神経までの）を含めて称しています。意志による筋の収縮は、すべて脳からの指令により精密に制御されていることから、『筋は神経の忠実な下僕である』と言われているほどです。

第7章は、酸素と二酸化炭素の交換に与る「呼吸器系」を解説しています。これは外呼吸のことで、細胞内で行われているガス交換（内呼吸）はミトコンドリアでのATP産生と直結しているので、第1章で扱っています。

第8章は、食物を分解し、必要な栄養分を吸収する「消化器系」と、吸収された栄養物を体内物質に合成したり、これらの物質を分解する「代謝」が扱われています。

第9章は、体内物質を分解した後の不要物質や余剰物質を排出する「排泄系」です。排泄とは、尿を排出することです。一般に排便も排泄と呼びます。（便宜的に、この教科書でもそうになっています）が、正しい表現ではありません。胃や腸の内部は、厳密に言えば体外なのです。

第10章は、次世代を造り出す「生殖系」です。男女で一番異なる構造と機能を持っています。むしろ、この違いにより男と女を区別したと言うべきでしょう。

③授業時間外の学習

特になし

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

教科書を一瞥すると、細胞内の小器官から各器官に至るまで、これらは、さまざまな構造をもっていることがわかります。直感的に理解できるとは限りませんが、それらの構造は、その機能にふさわしい形態をもっていることを念頭におくべきでしょう。

⑥教科書・参考書

教科書：下正宗他著『コアテキスト1－人体の構造と機能』医学書院

参考書：藤田恒夫著『入門人体解剖学 第4版』南江堂

森本武利他編『やさしい生理学 第5版』南江堂

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
生化学 (82102000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	坊垣美也子

①概要・ねらい

私達の体は60兆個の細胞からなると言われている。そしてこれらの細胞は常に物質を分解し、一方で様々な物質を合成している。また細胞は組織を、さらに器官を形成し、それぞれに特異的な機能・働きを発揮している。これらの生命現象を化学的に解き明かすのが、生化学である。ここで学ぶことは①私達の体がどのような物質で成り立っているのか、②栄養素にはどんなものがあるのか、③取り入れた栄養素をどの様にして分解しているのか、その過程でどの様にしてエネルギーを取り出しているのか、④分解した栄養素をもとにどのような物質がどの様にして合成されていくのか、⑤これらの生命活動がどの様にして統合され、調節されているのか、⑥生命にとって重要な自己複製がどの様に行われているかである。

- (1) 人体の仕組み 私達の体を構成している細胞の構造とその小器官の働きを学ぶ。体を構成する「分子」や代謝についての大きな知識を得る。
- (2) 私達の体を構成している最も主要な物質である、蛋白質および蛋白質を構成するアミノ酸の構造と性質について学ぶ。また、アミノ酸が分解され、排泄される過程およびアミノ酸代謝異常症についても学ぶ。
- (3) 私達の重要なエネルギー源である、糖質の構造とその代謝（解糖、クエン酸回路、電子伝達系）および生体のエネルギー－ATPの働きについて学ぶ。さらに、血糖値を維持する仕組み（インスリンとグルカゴンの働き）を理解する。
- (4) 脂質は私達のエネルギー源となるほかに、体を構成するものとしても重要である。中性脂肪やコレステロールなど重要な脂質の構造、性質、働きおよびエネルギー源としての代謝の過程とその調節の仕組みについても学ぶ。さらに、脂質の血液中の運搬体であるリポ蛋白質について学ぶ。
- (5) DNA、RNAなど核酸の構造と「複製」、「転写」、「翻訳」の仕組みを学ぶ。
- (6) 私達の体の中で起こる物質の変化の担い手である、酵素の働きの仕組み、性質を学ぶ。
- (7) 脂溶性ビタミンおよび水溶性ビタミンの働きと欠乏症について学ぶ。
- (8) 三大栄養素－蛋白質、糖質、脂質の消化と吸収の仕組みについて学ぶ。

②学習の到達目標

生物、特に人の体の中で起こっている物質の変化と、それを調節する仕組みを知ることは、臨床の場で遭遇する様々な疾患の原因や病態を理解するための手がかりになる。また、私達が摂取している栄養素がどの様にして消化・吸収を受けているのか、どの様な役割を持っているのかを理解しておくことも必要である。従って、専門科目、専門基礎科目を学ぶ上での基礎知識を身につけることが目標となる。

③授業時間外の学習

生化学は「生命現象」を「化学」で説明する学問であるため、基礎知識として生物学および化学が必要となる。高校レベルの生物、化学の知識を有することが望ましい。生化学では多少は化学式を用いることになるので、特に化学の内容のうち1)原子、元素、イオン、2)原子と原子の結びつき（化学結合）、3)酸・塩基、4)有機化合物、官能基（原子団・カルボキシ基、アミノ基、ヒドロキシ基など）についてはある程度復習し理解した上で、学習に取り組むこと。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

生化学は看護を目指す学生にとってはかなり難解な科目のひとつである。レポート設題は教科書に沿ってまとめている

るので、教科書を丁寧に読んで理解しながら学習を進めること。生化学は解剖学や生理学と関連する部分も多い。必要に応じてこれらの科目の教科書や生化学の参考書を用いるとよい。

【テキスト修了試験の対策】

出題方法は主に選択式とする。試験では「学習の要点」の22問から広く出題する。レポートをよく学習して確実な知識を身につけておくこと。

⑥教科書・参考書

教科書：相原英孝 他著『イラスト生化学入門－栄養素の旅－第4版』東京教学社

参考書：石黒伊三雄『わかりやすい生化学』ヌーヴェルヒロカワ

脊山洋右他編『新体系 看護学全書 人体の構造と機能2 栄養生化学』メヂカルフレンド社

畠山鎮次編『系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能2 生化学 第14版』医学書院

平田雅子『看護学生のための理数系科目に強くなる本』医学書院

⑦メッセージ

化学式が出てくるしカタカナが多い上に、目には見えない分子の話。だから生化学は難しくて取っつきにくい科目、とされていることでしょう。しかし、臨床の場で目にする現象の多くは、体の中で起こっている目に見えない分子の化学反応が積み重なった結果と言えます。生命現象を化学の目を通して見ることは私たちの体や疾患を理解することにつながります。辛抱強く学習を進めて下さい。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
症候論 (82201000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	三村 恵子

①概要・ねらい

症候とは患者自身が「不快」と感じる状態、すなわち自覚症状と理学的チェックやバイタルサイン、臨床諸検査による客観所見である他覚症状のことである。これらの症候は疾患そのものではなく、疾患によってひきおこされる身体の異常の表現である。そして、この異常の表現は疾患が違っていても共通の表現で現れてくる。また、疾患は一つでも症候は複数現れてくることが多い。ここでは一つ一つの症候についてその症候のおこる機序を考え、その症候が現れる疾患をできるだけわかりやすく分類して、どの疾患がどこにあてはまるのか、またその疾患にたどりつくのにはどのような理学的所見あるいは検査が必要なのかを明らかにしていく。そしてその症候にたいする対処の仕方についてもみていきたい。

②学習の到達目標

一般的によく遭遇する症候についてその病態を把握し、その症候が現れる疾患を推測し、的確な疾患にたどりつくために必要な理学的所見、検査所見について理解を深めること。

③授業時間外の学習

特になし

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

症候だけをとりあげ、その対処の仕方まで述べた1冊にまとまった的確な教科書がなく、2～3冊の内科書の症候を抜粋してとりあげていることを十分認識して学習してほしい。

【テキスト修了試験の対策】

出題方法は、五者択一です。試験では「学習の要点」の20問から複数の関連する問題を出題します。「学習の要点」の解答および関連事項をよくまとめておくことがだいじですが、テキストだけでは十分な内容の答案を作成するのは困難なので、参考書も必ず参考にして答案を作成してください。

⑥教科書・参考書

教科書：齋藤宣彦著『看護につなげる病態生理 よくある症状のしくみがわかる』照林社

参考書：杉本恒明編纂『内科学』朝倉書店

中野昭一編集『クリニカルサインと臨床検査』医歯薬出版

高久史磨、尾形悦郎監修『新臨床内科学 第8版Ⅰ』医学書院

大島弓子他編『看護の基礎科学 第5巻 からだの異常・病態生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』日本看護協会出版会

⑦メッセージ

成績評価の基準は看護業務において遭遇する症候についての十分な知識があり、その症候をもたらす疾患について十分な理解があるかなどである。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
病原微生物学・免疫学 (82202000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	木下 承皓

①概要・ねらい

微生物と人間とはもともとは共存関係にありますが、毒力の強い病原微生物と遭遇した場合や生体防御能（生体の抵抗力）の低下などによりヒトは感染症に罹患します。ヒトに感染が成立するためには、その病気（感染症）を引き起こす病原微生物（病原体）と感受性ある宿主（ヒト）の存在が必要ですし、その間にはいろいろな感染経路が存在します。人間生活の数々の局面での感染症の予防、治療、とくに院内感染の防止にはこのことをよく理解した上で実際に応用することができます。このことを感染制御（インフェクションコントロール&プレベンション）といいます。そのためには病原微生物学および感染免疫の知識の習得が必要条件となります。ここでは病原微生物の種類、特徴とそれによって引き起こされる感染症とその治療法としての化学療法、予防としての消毒と滅菌、そのほか食中毒、肝炎、母子感染、日和見感染症、性感染症、新興・再興感染症を学ぶにとどまらず、基礎免疫学とくに感染防御免疫、移植免疫などについても学習します。このことにより一般感染症患者のみならず、新興・再興感染症や院内感染症などの不測の感染症にも専門的判断をもって対応できる能力を養うことができます。

②学習の到達目標

いかなる看護の場においても感染症の予防と治療が関係します。感染症の患者の看護には病原微生物および免疫の基礎知識が必要であり、また医療機関内において看護師は感染制御チームの重要な位置を占めます。そこで感染制御の理論を修得するために必要な一般・日和見・新興・再興感染症の病原体の基礎知識とその感染病理および基礎免疫学を学び、これらに基づいて一般感染症患者の看護のみならず、新興・再興感染症や院内感染症などの不測の感染症にも対応できる能力を培うことを目標とします。

専門的判断をもって感染症の予防や感染症患者に対応するためには感染制御の基礎について学ばなければなりません。既に皆さんはこれまでに病原微生物学および感染症についても学んできています。そこでこれまで微生物学の中でいわゆる総論として取り扱われてきた内容に対応するものについて、教科書を使用して感染制御の基礎として深化させることにします。またいわゆる各論に含まれてきた内容についても教科書を使用して主に自己学習するものとします。したがって本科目で学習する内容のうち、コアとなる部分として以下のように大きく6つにまとめることができます。

- (1) 微生物の性状および感染と発症
- (2) 感染制御の基礎と標準予防策（スタンダードプリコーション）および感染経路別予防策
- (3) 細菌感染の基礎と感染制御
- (4) ウイルス・真菌感染の基礎と感染制御
- (5) 感染免疫と予防接種（ワクチン）
- (6) 病原微生物と感染症

総論と各論を各々別個に理解するのではなく、有機的に結合させ自由自在に応用できることを目標とします。

③授業時間外の学習

病原微生物とその特徴を感染制御から捉えると共に、感染制御の視点から感染症を有機的に捉えることを心掛けること。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

ただ漫然と教科書を前から順番に読むということや、以前やったことの復習ということではなく、感染症が成立するための条件を考えながら関連する項目を調べていく積極的な態度と興味を持ってあたることが肝要です。

また各論をする場合でも常に感染制御の視点から病原微生物や感染症を捉えることが大切です。

【テキスト修了試験の対策】

「②学習の到達目標」に挙げた6つのコアを中心にレポート設題、「学習の要点」を中心に学習し習熟してください。

出題方法は多肢選択式で、「学習の要点」から複数の関連する問題を出題します。

⑥教科書・参考書

教科書：土肥義胤 他『スタンダード微生物学〔保健微生物学・感染症学〕』文光堂

参考書：『病原微生物学（東京化学同人）』、『メディカルサイエンス微生物検査学（近代出版）』、『動物由来感染症マニュアル（金芳堂）』などの感染症および感染制御に関する本などを参考にとすると良いでしょう。普段からブルーバックスなどの自然科学書の中で感染症や微生物、免疫などについて書かれている書物に親しむことも大切です。また新聞などで現在問題になっている感染症などに関する情報などにも目を通しましょう。副読本として「ジーサブリ『イメージできる臨床微生物・医動物』（メディカ出版）」などがあります。知識の整理、試験対策に活用して下さい。

⑦メッセージ

感染症を視点を変えて感染制御する立場から見ると、また新たな視野が開けてくることに驚きをもつことでしょう。一緒に頑張ってください。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
薬理学 (82203000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	岡 悠子

①概要・ねらい

薬理学は、「薬物」と「生体」の相互作用の結果おこる現象を究明し、病気に対する薬物治療の基盤となる学問である。使用方法を誤れば「薬」は「毒」にもなり、薬物療法はまさに「両刃の剣」に例えられる。疾病の病態を把握し、なぜ薬は病気に効くのか、安全かつ効果的に薬を効かせるにはどのように投与すればよいか等について論理的に理解し、薬物療法における看護師の役割を十分認識することを目的とする。そのために、薬物の特性と取り扱い方、薬理作用とその作用機序、薬効に影響をおよぼす要因、薬の有害作用（副作用）、与薬法、製剤の種類、処方箋等の基礎知識を学ぶ。さらに、抗感染薬・消毒薬、免疫治療薬、末梢および中枢神経系に作用する薬物、アレルギーおよび炎症に対する薬物、心臓・血管系に作用する薬物、呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物、物質代謝に作用する薬物、抗がん薬など、各種疾患の治療薬として臨床の場で広く用いられている薬物の薬理作用を把握し、それら薬物による副作用とその対策を理解して、薬物治療の知識を習得する。

②学習の到達目標

患者の病気を診断し、適切な治療方針を決めるのは医師の仕事です。しかし治療には医師以外の多くの医療関係者の協力が必要です。特に薬物治療では、医師、薬剤師、看護師の三者が協働することで、初めて効果的な治療が可能になります。なかでも看護師は患者に接触する時間と機会が最も多く、薬物治療を受けている患者の回復に果たす役割は極めて大きいと思われます。適正な薬物療法を遂行するために必要な医薬品の薬理作用や有害作用を正しく把握し、治療効果の確認および有害作用の早期発見とその対策を医師や薬剤師と連携して行う意義を認識してもらえればうれしいです。

③授業時間外の学習

学習範囲が広いので、テキストを熟読して各項目ごとに要点をまとめて、薬物名とその薬理作用、作用機序、臨床応用や副作用を整理して理解するよう心がけてください。また、薬物名は商品名ではなく一般名で覚えてください。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

成績評価の基準は、基礎知識の習得度、および各種疾患に対する薬物療法の知識の習得度と理解度で、加えてレポートに関しては、要点を整理して記述できているか等です。

【テキスト修了試験の対策】

「学習の要点」は、薬物治療を行う上で重要な事項や、最新知識として習得すべき事項などを考慮して作成してあるので、問題の真意を把握してテキストを熟読し、要点をまとめて解答してください。試験の出題方法は記述式のほか、○×式や穴埋め式も取り入れます。また、試験ではこの「学習の要点」の21問に関連する問題を複数出題します。

⑥教科書・参考書

教科書：吉岡充弘 他『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学 第15版（2022年改訂）』医学書院

参考書：テキストを熟読すればレポートが十分作成できるので参考書は特に必要はありません。

より詳しく学びたい人は、『グッドマン・ギルマン薬理書－薬物治療の基礎と臨床（上）（下）第12版』Brunton, L. 他編集、高折修二他監訳（広川書店）や『NEW薬理学 改訂第7版』田中千賀子・加藤隆一・

成宮 周 編集（南江堂）を参考にして下さい。

⑦メッセージ

薬物治療の分野は日進月歩で、薬理学のテキストもそれにあわせて3－5年毎に改訂されます。同じ書名であっても版が異なれば内容は大きく変わります。

2022年以降に入学の学生さんは必ず第15版（2022年改訂）を用いて下さい。

2021年以前に入学した学生さんは入学時に購入した第14版（2018年改訂）使用可。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
公衆衛生学 (82301000)	テキスト科目 (レポート+試験)	1	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	神坂 百合子

①概要・ねらい

公衆衛生を英訳すると「public hygiene」になりますが、それが「public health」と表記する理由は、healthがhygieneをも包括することを意味しています。つまり「みんなの健康」を意味しているのです。そもそも近代公衆衛生の始まりは、イギリスの産業革命にその萌芽をみるのですが、公衆衛生の理念や技術は一朝一夕にして完成されたものではありません。今日公衆衛生の定義は、米国の学者ウインスローによる「公衆衛生とは、サイエンスでありアートである。いづれも、組織化されたコミュニティの努力によって、疾病を予防し、寿命をのばし、健康づくりと諸活動の能力を高めるためのものである」が広く周知されています。これを世界保健機関（WHO）はその憲章の前文で健康の定義を「身体的にも、精神的にも、社会的にも良好（well being）な状態」と明記しています。

今日近代化・国際化・情報化に伴って生活の質（QOL）が向上してきていますが、他方では地球資源の水・空気・食品等の汚染問題が顕在化しています。また多くの食品輸入によって食生活の変化に伴う肥満・生活習慣病が増え、疾病構造に変化をもたらし、今や社会問題になっています。また世界的な規模で新興感染症・再興感染症の発症も問題になっています。

このように公衆衛生学とは、個人や地域社会の住民全体をはじめ、全世界の人々が心身ともに健康を維持増進させることはもとより、私たちを取り巻く地球環境をも含めた総合的な学問体系なのです。

②学習の到達目標

公衆衛生学の歴史を我が国と対比しながら学び、それを踏まえて公衆衛生の活動対象を学ぶ。また公衆衛生を担保する法律を知り専門職としての働きを学ぶ。集団の健康を捉えるための「疫学」を通して環境と健康・国際保健を学び、これがどのように使われているかを学ぶ。地域保健では母子保健をはじめ感染症対策を学び、学校保健の展開から職場と健康、健康危機管理から災害保健を学ぶ。以上を踏まえ医療・看護の果たす役割を考察する。

③授業時間外の学習

まずはテキストを読了し、内容を把握すること。学習に備えて参考図書を準備しておくこと。日頃公衆衛生に関するマスメディア情報に関心を持つよう努めること。最新データは厚生労働省発信のホームページで確認すること。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	製作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

テキストを熟読すること。レポート作成時のデータは最新のものをを使うこと。また、レポート設題に関する章以外も履修し、レポート作成に生かすこと。

【テキスト修了試験の対策】

「学習の要点」の内容から出題します。試験問題の用紙とポイントを把握して、全問題に対して予めまとめておいて下さい。

⑥教科書・参考書

教科書：神馬征峰『系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔2〕 公衆衛生』

参考書：『シンプル衛生公衆衛生学 2016』南江堂、『わかりやすい公衆衛生学 第4版』HIROKAWA、『イラスト公衆衛生学 第4版』東京教学社、『感染症発生動向調査』国立感染症研究所のweb siteから情報検索

⑦メッセージ

テキスト履修の基本はテキストをよく読むことです。レポートでは設題に対して的確な内容であるかを評価します。貴方自身の文章でまとめるよう心がけて下さい。通信教育成功のkey wordは「克己心」です。卒業を目指して頑張ってください。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
保健医療福祉総論 (82302000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	横川 意音

①概要・ねらい

病気や障害はその程度にもよるが、これまでの生活スタイルの変更を余儀なくするほどの翁「衝撃」を与えうるできごとと言ってもよいだろう。具体的な身体の痛みに加え、そのことによってもたらされる様々な生活への制約はその人がもつ社会性の範囲を縮小させ、生きる意欲をも減退させてしまいかねない。医療や福祉はそんな困難の只中にある人を支える専門技術をもつ。困難を抱えつつも自分らしく豊かに生活したいという願いの実現にむけてそれぞれの専門性を活かし合う専門職間の協働は欠かせない。

本科目では、この協働関係が欠かせない社会福祉領域への理解を深め、それを契機に一旦自身の専門外へ飛び出して視野を広げることを目指している。そのことで、支援を必要とする人のニーズを多角的にとらえる考え方の大切さに気付き、ご自身の実践に具体的に活かせるようになることがねらいである。

②学習の到達目標

上記の目的とねらいを踏まえ、ご自身の看護実践の経験を今一度ふりかえり、看護の専門性について再考することを目標としたい。さらに、いまおかれている実践現場でのわたしの役割はなにかも考えてみてほしい。

③授業時間外の学習

特に指定はしません。が、各人が従事している保健医療福祉分野で日々考えていること（課題意識や現在の関心事）と関連付けて丁寧に掘り下げ、考察を深めてもらえたらと思います。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

試験では複数の問題を「学習の要点」から出題します。1問（配点25点）でも基準点（10点）を下まわる時は合計点が60を超えていても不合格とします。

⑤履修上の注意など

レポート課題については、必要充分にまとめていただくだけでなく、できれば日頃気づきなどを大切にして、ご自身の考察を取り入れてほしい。

⑥教科書・参考書

教科書：福田素生他『系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔3〕社会保障・社会福祉』医学書院
基本の教科書以外に特に指定はしませんが、教科書のみで回答できないものもあります。各自文献を探してください。

⑦メッセージ

社会福祉のものの見方、考え方に会ってもらいたいと思います。ご自身のベースである「看護実践」において、この学びが良い意味付けを与えるものであり、さらなる展開を支えるものであれば願っています。

また、通信制ですから、残念ながらみなさんと直接お会いすることがありません。何かありましたら質問や意見などシステムを通じて伝えてくだされば幸いです。

なお、試験で不合格であっても回答すべて不適切ということではない方がほとんどです。しかし成績（評価）として通知されるのはABCDの判定でのみで、みなさんにはどこが充分でなかったか知り得ないわけです。そのため、何度トライしても合格に至らない、前回適切に回答できていた設問すら次提出ではまちがいでになってしまうなどもったいないことが生じたりしますので、仕事（家庭）と学業の両立をされている皆様ができるだけ意欲をおとさずスムーズに修了されるように早目に質問システムを用いて下さるように、と思います。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
関係法規 (82303000)	テキスト科目 (レポート+試験)	1	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	高宮 洋子

①概要・ねらい

近年、高度科学技術の発展と共に医療技術や医療機器の進歩による臓器移植や生殖医療の進歩、急速な高齢化と著しい出生率の低下による疾病構造の変化等、保健医療を取り巻く環境の変化は著しく、これらに対応するために新法の制定や法令の改正が頻繁に行われている。そして、人間の生と死に関する問題が社会問題として顕在化し、人々を取り巻く環境や人権意識も変化し、看護を取り巻く状況は大きく変化してきている。

看護者は患者の権利の擁護者であり、患者の権利の一つである「良質の医療を受ける権利」に関与している。社会的存在である看護の対象及び看護職にとって、人権や健康、環境を守るために関連する法的知識や人権保障の諸制度に関する知識を得ることが学習の目標となる。そこで、憲法に基づいた法の構造と医療法規の概要、特に保健師助産師看護師法について、その目的、定義、業務を理解し、看護実践で生じる法的問題への対応について学ぶ。さらに、各種の法規を知識レベルから、病院、地域、行政機関、福祉施設での看護活動と関係法規との関連、実践での具体例（事故やトラブル、法規の活用など）について学び看護職の職務遂行に伴う法的責任を理解すると共にどのような役割を担っているのか認識することが重要である。

②学習の到達目標

- ・法の基本的な性格や原則を理解し、人々の利益や人権保障について理解できる
- ・患者の基本的な人権を守るための医療のあり方が理解できる
- ・法の構造と医療関係法規の概要が理解できる
- ・職務遂行に伴う法的責任の概要が理解できる
- ・看護実践で生じる法的問題とその対応をととして看護師の法的責任が理解できる

③授業時間外の学習

看護職の業務を遂行するにあたり背景としてある法的側面の基礎的知識が必要となる。看護業務を規定する看護の基本法「保健師助産師看護師法」はもちろんのこと、「日本国憲法」「医療法」「健康増進法」「地域保健法」「母子健康法」「医師法」「介護保険法」「個人情報の保護に関する法律」「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」など、看護に関係する法律については学習を深めておくことが重要となる。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

学習目標をテキストに沿って学習し、整理することによって学習が深まる。とくに、重要なキーワードがたくさんでくるので、理解を深めるようにする。また、看護実践で生じる法的問題への対応については、具体的な問題が提示されているため、身近な問題はなかったか、その時の対応はどうだったかなども考えながら学習を進めてほしい。

【テキスト終了試験の対策】

学習目標を中心に、学習内容を整理しておくことがテキスト修了試験に向けてのポイントとなる。

⑥教科書・参考書

教科書：田中幸子・野村陽子（編）『看護学テキスト 看護関係法規 看護職の責任と法的根拠を学ぶ』 南江堂

参考書：大森武子・山内義廣「看護と法」医歯薬出版株式会社 2010年

厚生労働省健康政策局看護課監修「看護六法平成30年度版」新日本法規出版

日本看護協会編「看護に活かす基準・指針・ガイドライン集」日本看護協会出版会
日本看護協会監修「新版看護師の基本的責務」日本看護協会出版会 2015年
日本国憲法 小学館

⑦メッセージ

看護を取り巻く法的問題は、時代とともに厳しくなっている。歴史的な変遷も意識しながら学習してほしい。また、学習をとおして、看護師としての法的責任と自覚をより明確にする事が大切となる。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
看護学概論 (83101000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	丸岡 洋子

①概要・ねらい

看護学概論では、看護学及び看護実践活動全般に関する知識や理論を学修し、専門職としての看護とは何かを明らかにする。看護学や看護実践活動を概観し、看護とは何かを明らかにするために、以下のような構成からなる内容を学修する。

1つは、看護という領域がどのようにして生まれ、確立し発展してきたか。また今後の展望と課題等の歴史的な側面の内容である。2つ目は、看護が社会の中でどのように認知され機能しているかの内容として、看護制度や管理、保健医療福祉サービス等の社会的な側面である。そして3つ目は、看護理論の発展と動向に関する看護の科学的認識の側面である。

これらの内容を通して、看護の目的、看護の対象となる人々、看護の機能（方法）を体系的にとらえ、国際化社会における、またチーム医療における看護師の専門的役割への自覚を高めることをねらいとする。

②学習の到達目標

看護学および看護実践活動を概観し、看護の目的、看護の対象となる人々、看護の機能（方法）を理解し、看護専門領域の認識を深め、看護専門職としての役割への自覚を高める。

- 1) 看護の語源、看護の起源、看護の確立と発展過程を知り、近代看護における看護の理念および、看護の定義、概念を理解する。
- 2) 看護の対象となる人間を、環境との相互作用の中で能動的に生きている存在として理解するために、「WHO憲章の人間のとらえ方、生物体・生活体の統一性、生物学的発達・発達課題、自我の統合にむけ発達変化する人間、ニードを有する存在」等の観点からアプローチする。
- 3) 健康の概念を以下の学習を通して理解する。
「WHOの健康のとらえ（WHO憲章前文及びアルマ・アタ宣言、オタワ憲章の学習）」「看護の理論家の健康のとらえ方」「適応としての健康」など。
- 4) 看護の専門領域の確立のために、看護の理論（看護の科学的認識）がどのように確立され、発展してきたかを知り、ナイチンゲールの理論を起点として、その後の主な看護理論家たち（オランダ、ウィーンデンバック、ヘンダーソン、ロイ、オレム、ペプロウ、ロジャース、ベナー等）の看護理論の概要を理解する。
- 5) 看護の機能（方法）、社会的役割、医療の動向および、看護実践に求められる倫理の理念と行動を学び、看護専門職の役割を自覚し、自己の看護専門職像を形成する。

③授業時間外の学習

- ・日常的に新聞の社説やコラム欄を読み、文章の成り立ちと意味を意識して学ぶ。
- ・日常業務における体験を通して自己の看護に対する考えを検証する。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

学修目標を手がかりに、そこに示された具体的な概念や理論の一つひとつ取り出し、自分で整理して学んでほしい。概論レベルの学修は、直ちに一般的な答えが示される訳ではないので、様々な角度、視点を持つこと、自分なりに将来像を見据えた考えをもつことをポイントに、でき得る限り多くの文献を読み、それを手がかりに、自己の考えの論拠としてほしい。

【テキスト修了試験の対策】

学習目標に示された内容の具体を、客観テスト（○×、多肢選択、括弧内に入れる、組み合わせなどの方法）や論文体テストで行う。

知識や理論を覚えておくことも（暗記）も必要だが、それらの内部の関係性を把握し、自分の言葉に置き換えたり、人に説明したりすることができる（理解）ように、さらには、状況や場面に、その知識や理論を活用して、予測や予見内容が考えられる（応用や推論する思考力）ように、日頃から主体的な学修を心がけてほしい（受身的、パターンの学修に陥らないように留意すること）。

⑥教科書・参考書

教科書：松本光子編『看護学概論 看護とは 看護学とは』ヌーヴェルヒロカワ

参考書：後閑容子他編『基礎看護学、健康科学概論』ヌーヴェルヒロカワ

薄井坦子著『科学的看護論』日看協出版会

F. Nightingale著、湯槇ます他訳『看護覚え書』現代社

V. Henderson著、湯槇ます他訳『看護の基本となるもの』日看協出版会

V. Henderson著、湯槇ます他訳『看護論－25年後の追記を添えて－』日看協出版会

林滋子編『看護の定義と概念』日看協出版会

J. George編、南裕子他訳『看護理論集－より高度な看護実践のために－』日看協出版会

C. Roy著、松本光子監訳『ザ・ロイ看護適応モデル』医学書院

D. Orem著、小野寺杜紀訳『オレム看護論』医学書院

P. Benner著、井部俊子他訳『ベナー看護論新訳版 初心者から達人へ』医学書院

⑦メッセージ

⑤の履修上の注意で述べたように、看護学概論で学ぶ内容は、パターンの、マニュアル的な答えを得るものではありません。最終的には、自己の看護に対するフィロソフィーを確立することにあります。これまでの自己の看護体験を大切にしながら、それらを様々な角度から分析、多くの文献を手がかりに裏付けたり批判したりしながら、看護の経験（キャリア）に発展させていくような学修への取組みが求められます。

さらに看護学の学問的追及という学修視点を常に認識し、看護に関する概念を明確に規定する学修を望みます。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
看護対人関係論 (83102000)	テキスト科目 (レポート+試験)	1	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	長尾 厚子

①概要・ねらい

看護実践過程に必要な看護の対象への洞察力、相互関係、コミュニケーション技術など、対人関係に関連する能力を高めるための学習は、看護を目指すものにとっては必須の学習内容である。特に看護実践においては、なんらかの“行為”として表出しなければならない。看護実践を構造化し、どのような知識を統合していけば“看護コミュニケーション行為”として表出できるようになるか、シユーマを描き、それぞれの知識を確認しながら進めていく。そして、知識の統合には、思考力とともに自己のありようを見つめながら、看護の対象との関係を調整する能力が必要となる。“看護コミュニケーション行為”のための知識の統合モデルを活用しながら、自分の感情や反応を知性でコントロールしつつ、納得して患者の感情を読み取り、共感していく能力が身につくような学習とする。

②学習の到達目標

1. コミュニケーションに関する基礎的知識が理解できる。
2. 看護対人関係の構造的理解ができる。
3. 看護コミュニケーションの目標が理解できる。
4. 看護実践場面でのコミュニケーション行為の場面の考察をとおして、自己のありようを見つめ、看護コミュニケーションとしての自己の課題を明らかにすることができる。

③授業時間外の学習

これまでの看護実践場面を振り返る学習となるため、看護の対象への洞察力を高めるための知識の確認が必要となる。対象理解を深めるために、健康障害（疾患）の理解や健康段階における看護の一般論、さらに発達段階の特性についての学習を深める必要がある。そのために、成人看護学・老年看護学等で学ぶテキストを参考に、学習内容を整えておく。また、障害受容のプロセス、危機理論など、患者の心理を考察するための学習内容を整えておくことが重要となる。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

コミュニケーションに関する基礎知識は、テキスト「考える基礎看護技術〔Ⅰ〕」を使用し、学習をすすめる。また、テキスト「看護場面におけるコミュニケーションガイド」の前半部分をよく読み、看護対人関係の構造的理解を深める。さらに、実践編に盛り込まれている各事例から、看護コミュニケーション行為として成立するために必要な対象のとらえ方、そのために必要な知識、援助行為として必要な技術は何かなど、自分自身を振り返りながら読みすすめていくことが重要となる。

【テキスト修了試験の対策】

コミュニケーションに関する基礎的知識についても整理し、学習しておく。（テキスト「考える基礎看護技術〔Ⅰ〕」のコミュニケーションの箇所を参照）

テキスト（「看護場面におけるコミュニケーションガイド」）の実践編の事例の中から、看護コミュニケーション行為としてどのような意味があったかについて学習しておくことが大切である。

⑥教科書・参考書

教科書：①米谷淳 鎌田美智子『看護場面におけるコミュニケーションガイド』日総研

②坪井良子 松田たみ子『考える基礎看護技術〔Ⅰ〕』ヌーヴェルヒロカワ

参考書：白井幸子『看護にいかすカウンセリング』医学書院 1987

⑦メッセージ

これまでの看護実践のなかで、気になる対応場面について、あるいはよく似た対応場面について、テキスト『看護場面におけるコミュニケーションガイド』の実践編の中から見つけ出し、振りかえる材料にいただければ理解が深まると考えています。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
看護行為論 (83104000)	テキスト科目 (レポート+試験)	1	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	高宮 洋子

①概要・ねらい

臨床における看護実践は、常に対象や場の特性を含んでいる。目の前にいる対象に適した「洗髪」は例えば、「化学療法中で気分不良が強く不安を抱えている22歳の女性」というような個人の特性が加味された実践となるはずである。つまり、臨床における看護実践は、どのような場面においても関連する「看護技術」に、対象の健康障害の種類、健康段階、発達段階、固有の背景など対象の特徴を理解するための知識を「看護過程」や「看護対人関係論」などの技術展開を用いて統合し、「看護行為」としてアウトプットしたものである。

看護行為論では、「看護行為」として用いる基本看護技術に含まれる科学的根拠を明確にし、対象に適用できるための基礎的な内容としての理解を深める。

1. 共通基本看護技術

- a. フィジカルアセスメント ・問診・視診・触診・聴診・打診の基本技術
・系統的なフィジカルアセスメントの実践
- b. 感染予防 ・感染予防における看護師の責務と役割・標準予防策
・手洗い、消毒、滅菌法、無菌操作、ガウンテクニック
・隔離法および感染源の拡散防止、
- c. 安全確保 ・安楽な姿勢・体位の保持
・ボディメカニクスの基本、体位変換
・安全を保つための医療環境の調整
- d. 終末期のケア ・死の兆候とケア、臨終時の看護
・死後のケア
・遺族へのケア（グリーフケア）

2. 基礎的日常生活援助技術

- a. 環境の調整 ・病床の整理と環境調整 ベッドメイキング
- b. 食事・栄養の援助 ・経口摂取が出来る患者、嚥下障害のある患者の食事介助
・経管栄養法、胃瘻栄養
- c. 排泄 ・自然な排便排尿を促す援助、床上での排泄の援助、
・尿失禁・便失禁のある患者の援助、浣腸・摘便
・膀胱留置カテーテルの挿入と管理
- d. 活動と休息 ・体位変換、床上運動・活動の援助
・移送・移動（車イス、ストレッチャー）、
・睡眠の援助
- e. 清潔・衣生活 ・清拭、洗髪、口腔ケア、陰部洗浄

3. 診療に伴う技術

- a. 呼吸・循環・体温調整 ・ネブライザー・酸素吸入の適応と方法、
・口腔・鼻腔・気管内吸引、
・胸腔ドレナージの管理、去痰法、
・冷罨法、温罨法、保温
- b. 創傷管理 ・創傷の治癒過程
・褥瘡の予防と治癒の促進
・ドレッシング、包帯法
- c. 与薬 ・薬物療法の理解と看護師の役割
・経口与薬法、外用薬の皮膚・粘膜適用
・注射法
- d. 救急救命処置 ・心肺蘇生の方法
・1次救命処置の方法
・止血法
・胃洗浄
- e. 生体機能のモニタリング ・診察・検査時の看護師の役割
・検体検査（尿・便・喀痰・血液・胸水・腹水・髄液）
・血糖測定・パルスオキシメトリー

以上の基本看護技術に内容を限定しているが、看護行為の構造を理解し、技術と知識を統合させる必要性を理解することで、他の看護技術についても科学的根拠に裏付けされた援助を考えることが出来ることをねらう。また、共通する看護技術については、それぞれの看護技術を考える際に必ず用いる内容としてその必要性を理解する。

②学習の到達目標

どのような特性を持つ対象に対しても適用できる技術を実践できるよう、臨床における看護実践を「看護行為」として理解し、基本看護技術を1つ1つの動作から科学的根拠に基づいて実践できるよう必要な知識を習得する。

③授業時間外の学習

日本看護協会2003年「看護者の倫理綱領」の学習。テキスト『考える基礎看護技術〔Ⅰ〕』の第1章「看護技術の独自性」を熟読する。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

上記の基本看護技術について、援助の目的を理解する。また、援助を受ける対象の状況を考え、身体的・心理的影響、生活過程への影響を理解する。解剖生理学・生化学などの知識をもとに援助技術の科学的根拠を考える。

【テキスト修了試験の対策】

出題方法は、論述式のほか、○×式や穴埋め式も取り入れます。また、試験では、「学習の要点」24問から複数の関連する問題を出題します。

試験問題の真意と中心となる点を把握し、全問題について要点をまとめておくようにしてください。テキストを熟読するだけでは、十分な内容の答案を作成することは困難なので、参考書等を積極的に活用し、答案を作成してください。

⑥教科書・参考書

教科書：坪井良子 松田たみ子『考える基礎看護技術〔Ⅰ〕・〔Ⅱ〕』ヌーヴェルヒロカワ

参考書：平田雅子著『NEWベッドサイドを科学する』学研

菱沼典子・小松浩子編『看護実践の根拠を問う』南江堂

三上れつ・小松万喜子編『演習実習に役立つ基礎看護技術』ヌーヴェルヒロカワ

などの本を参考図書にするとよい。

⑦メッセージ

成績評価の基準は、看護技術を実践するために必要な基礎的な知識の習得状況および理解度、設題を理解し要点を得て解答できているかなどである。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
看護と研究 (83106000)	テキスト科目 (レポート+試験)	1	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	長尾 厚子

①概要・ねらい

看護が、人々の健康の維持・増進、疾病からの回復過程、および安らかな死への準備にどのように役立っているかを系統的に探求することは、看護ケアの改善にとって欠かせないことである。したがって、看護が専門職として発展しはじめた近年では、看護の研究も盛んに行われるようになった。専門誌の数も増え、研究の報告も文献として多数掲載されるようになり、研究の成果を活用できる機会も増えてきた。また、研究の成果が実践の改善に貢献しているという報告も増え、実際に研究と実践をどのように結びつけていくかという論文もできるようになった。研究は、一部の研究者だけが行うものではなく、現場で働く者、教育者、研究者は協力して、ケアの場に何が生じているのか、それはなぜなのか、看護ケアの知識や技術は実際に患者や家族の状態を改善しているのかなどの疑問に答える努力をしなければならない。

そこで、看護学や看護実践の改善・発展のために、看護の専門性と看護研究の関係や重要性について理解することが大切である。さらに、看護における研究の意義と役割、看護研究の目的を理解し、看護研究の種類と方法、研究の進め方について学習を深める。また、研究を進めるにあたって、看護研究における倫理的配慮の必要性を理解する。文献検索の方法や研究の基本的用語の理解なども必要になってくる。

②学習の到達目標

1. 看護における研究の意義や役割が理解できる。
2. 研究の目的が理解できる。
3. 看護研究の種類と方法が理解できる。
4. 研究の進め方が理解できる。
5. 文献検索の必要性と方法が理解できる。
6. 研究論文のまとめ方と評価について理解できる。
7. 看護研究における倫理的配慮の必要性が理解できる。

③授業時間外の学習

日頃の看護活動のなかで起こっている看護現象を、意識的に疑問視したり、根拠が明らかになっているのかなど、記述しておく。また、看護系の研究論文集に目を通し、自分の関心ある事柄と関連あるものはさらに詳しく読んでおく。できるだけ多くの研究論文を読んでおくことが、学習内容の理解に繋がる。

さらに、学習をとおして見出した研究としての課題を、今後の看護実践を通して研究活動へとつなげていくことができる努力を期待する。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

看護研究における基礎的知識の習得は必ず必要である。テキストを熟読し、基本的用語の理解から学習をはじめ、自分なりに整理し、レポート課題に取り組むと学習が深まる。さらに、すでに発表されている研究論文（文献）を検索し、論評することも大切である。また、身近な看護活動のなかから日ごろ疑問に思っている事、関心のあることを整理し、研究的に追究するプロセスを学習することが研究的態度の育成につながる。単位修得には、ケーススタディへの取り組みの実際は問わない。しかし、卒業までに、自分の課題を明確にして、研究的に取り組みたい人は、指導する。

【テキスト修了試験の対策】

学習目標に沿って、看護研究にとっての基礎的知識を確実に自分のものにしておくことが大切である。

⑥教科書・参考書

教科書：南裕子 編『看護における研究』日本看護協会出版会

参考書：黒田裕子著『看護研究step by step』学研

数間恵子、岡谷恵子、河正子編著『看護研究のすすめ方よみ方つかい方』日本看護協会出版会

⑦メッセージ

勤務の経験のなかで、日ごろから疑問に感じていることが多くあると思われる。小さな疑問でも、なぜだろうと考え
てみる機会にしてほしい。そして、文献検索していくと、すでに同じ疑問を持った人が研究して、明らかになったこと、
まだ疑問として残っていることが出てくると思う。また、看護実践をふりかえり、過去の文献や定説と照合して自分が
おこなった看護を深く考察する機会となればと考えている。今回の単位修得には関係なく、卒業までに論文としてまと
めてみたい人は、チャレンジしてください。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
成人援助論 (83302000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	金川 治美

①概要・ねらい

成人看護学概論で、成人看護の対象の特徴と看護に必要な理論を学んだ。成人援助論では、あらゆる健康段階にあって、主要な症状をもつ成人期の患者に対する援助を学習する。そこで、器官系統別の疾患の中から、主要な症状をもち、疾病の動向や看護実践上遭遇する頻度が高く、治療・処置に対する看護をも学習できるように、成人看護学演習での学習内容を鑑みて成人援助論で学習する疾患を選択した。

- (1) 食道がんで全身麻酔のもと食道切除術を受ける患者の術前・術中・術後の看護
- (2) 胸痛があり急性心筋梗塞と診断され、心臓カテーテル検査および血栓溶解療法を受ける患者の看護および心臓リハビリテーション看護、再発予防のための生活指導
- (3) 脊髄損傷と診断され、損傷の加重・拡大を抑制するため手術療法を受ける患者の手術までの症状に対する看護および手術後の看護、運動麻痺、知覚障害をもつ患者の看護
- (4) 脳血管疾患患者の主な症状に対する看護と治療・処置に対する看護
- (5) 白血病患者の症状に対する看護および骨髄穿刺や化学療法などの治療・処置に対する看護
- (6) 腎不全と診断され透析術を受ける患者に対する生活の再構築をふまえた看護

病患がもたらす症状を症候論・病態学に基づいて理解し、行われる治療・処置、またそれらによる生活への影響について理解して、援助を考えていくプロセスを学ぶことで、他の疾患をもった対象に対しても、主要症状と健康経過に応じた援助を考えることができることをねらう。

②学習の到達目標

1. 成人患者の主要疾患と症状に対する治療過程を知り生活に与える影響を理解できる。
2. 健康段階（急性期、リハビリテーション期、慢性期、終末期）に応じた援助が科学的根拠に基づいて理解できる。

③授業時間外の学習

6つの症例の主要な症状について、以下のことを事前に学習する。

- 1) 症候論や病態学の知識をもとに疾患や症状の発生機序について理解する。
- 2) 主要症状に伴う苦痛や生活への影響、解剖生理学などの知識にもとづいた健康問題を理解する。
- 3) 疾患、治療や処置の目的、患者への身体的・心理的影響、生活への影響を理解する。
- 4) 看護の理論を使い看護の目標を導き、科学的根拠に基づいた援助を考える。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

【テキスト修了試験の対策】

出題方法は、論述式のほか、四肢択一を取り入れます。また、試験では、「学習の要点」から複数の関連する問題を出题します。

全問題について要点をまとめておくようにしてください。テキストを熟読するだけでは、十分な内容の答案を作成することは困難なので、参考書等を積極的に活用し、答案を作成してください。

⑥教科書・参考書

教科書：大西和子 他『成人看護学概論』ヌーヴェルヒロカワ

参考書：教科書だけではなく、『系統看護学講座(医学書院)』、『新体系看護学全書成人看護学(メヂカルフレンド社)』などの器官系統別の看護に関する本などを用いて、学習して下さい。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
老年援助論 (83402000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	川邊 玲子

①概要・ねらい

老年期の特性を考えるには、人生を年代ごとに心身の発達や社会的な関係が異なることを踏まえて、そこに至る過程と死に直面しているという一連の流れの中で捉える必要がある。老いをどのように受け止め人生の統合に向かえるか、いかに持っている機能を維持し、障害を最小限にする看護を提供できるかを考えていくことにある。

老年援助論では、加齢や環境、疾患からくる主要な症状を捉え学習する。老年期の特性を身体面・精神面・社会面から捉え、患者の生活に視点をのいたQOLの維持向上を図り、高齢者の障害を最小限にできる援助と看護師の役割について考えることを学びとする。

②学習の到達目標

1. 高齢者が加齢に伴う変化と健康障害が日常生活に与える影響について理解する。
2. 健康問題・障害のある高齢者のQOLを目指した援助のあり方を考える。
3. 健康問題・障害に対するアセスメント方法、具体的援助方法を理解する。
4. 高齢者の生活環境を整えられるよう、看護師として保健・医療・福祉における看護・介護家族への役割を考える。

③授業時間外の学習

- 1) 加齢変化が心身に及ぼす影響について、臨床現場に照らし合わせて看護の要点を整理し理解する。テキストだけでなく関連図書も読み理解を深める。
- 2) 疾患や症状の発生機序について基礎知識、援助の根拠を理解する。
- 3) 高齢者の自立・人権・尊厳について学習し、健康障害にどのように影響しているか理解する。
- 4) アクティビティケアについて、臨床の中にどのように活かされているか考える。

④成績評価方法基準

終了試験	平常点	政策物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

レポート課題のみに終始しないで、知識が深まっていくことを楽しみ、学習することの喜びを味わってください。老年看護はこれからの期待される看護学としてますます注目されています。臨床の中で感じたことや疑問点を一つ一つ紐解いていくことが、あなたの経験知となって役立っていきます。

【テキスト終了試験の対策】

出題方法は、○×式、四肢択一を取り入れます。

⑥教科書・参考書

教科書：北川公子他『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学』医学書院

参考書：後閑容子『エビデンスに基づく高齢者の看護ケア』中央法規

奥野茂代・大西和子『老年看護学概論と看護の実践』ヌーヴェルヒロカワ 2014

山田律子編集『生活機能からみた老年看護過程』2012

⑦メッセージ

神戸常盤大学短期大学部で学んだ学生は、幅広い知識・技術の基に、高齢者の権利や、人間尊重の精神に基づく看護が実践できると評価を受けられ、看護のリーダーとしてその力を発揮されることを期待しています。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
小児援助論 (83502000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	山岡 紀子

①概要・ねらい

小児援助論では、健康障害を有する子どもと家族が療養・生活するための看護を理解することを目標とする。健康問題や障害、入院や治療などが子どもの成長発達や家族に及ぼす影響について学習し、子どもと家族の看護の基本を学ぶ。また、子どもの病態や発達段階そして個性性を考えた看護のあり方や小児看護技術、安全管理を重視した入院環境などの学習を深めていく。

様々な健康問題や障害をもつ子どもと家族は、看護に何を求めているのか、看護がそれにどう答えていくか、それぞれの子どもと家族にふさわしい看護を実践するための基礎知識や技術について理解を深めてもらいたい。

②学習の到達目標

健康問題や障害をもつ子どもの病態や発達段階に応じた看護について学習し、子どもと家族にふさわしい看護が実践できるための基礎知識や技術について理解できる。

③授業時間外の学習

小児看護学の科目は、小児看護学概論、小児援助論、小児看護学演習へと内容を発展させて構成している。小児援助論は、小児看護学概論の内容を理解していることを前提に展開するので、小児看護学概論の内容を復習したうえで、以下の1)～4)に取り組むこと。

- 1) 健康問題・障害が小児と家族に与える影響と看護について学習する。
- 2) 慢性期にある小児と家族への看護について学習する。
- 3) 救急処置が必要な小児と家族への看護について学習する。
- 4) 先天的な健康問題のある小児と家族への看護について学習する。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

【テキスト修了試験の対策】

出題形式は、○×式、選択式および論述式を取り入れます。内容は、『学習の要点』から複数の関連する問題を出題します。『学習の要点』は看護師国家試験のポイントとなる事項でもあるので、内容をしっかり理解してまとめておきましょう。また、小児の代表的な疾患（例：肺炎等の呼吸器疾患、麻疹や感染性胃腸炎等の感染症、心室中隔欠損症やファロー四徴症等の循環器疾患、白血病や血友病等の血液疾患、肥厚性幽門狭窄症や腸重積症等の消化器疾患、気管支喘息等のアレルギー疾患、ダウン症候群や筋ジストロフィー等の先天性疾患、急性糸球体腎炎やネフローゼ症候群等の腎疾患、てんかんや脳性麻痺等の脳・神経疾患、糖尿病等の内分泌・代謝疾患、川崎病など）については、まんべんなく学習してください。

⑥教科書・参考書

教科書：小林京子・高橋孝雄 編集『新体系看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論・小児保健』メヂカルフレンド社 第6版

小林京子・高橋孝雄 編集『新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護』メヂカルフレンド社 第6版

参考書：奈良間美保 著者代表『系統看護学講座 専門分野II 小児看護学1 小児看護学概論・小児臨床看護総論』医学書院

奈良間美保 著者代表『系統看護学講座 専門分野II 小児看護学2 小児臨床看護各論』医学書院

中野綾美 編者『ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護』メディカ出版

中野綾美 編者『ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術』メディカ出版

中村友彦 編者『ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護』メディカ出版

⑦メッセージ

看護援助について考えると、その根拠は解剖生理や病理病態にたどり着きます。また、子どもや家族に疾患や治療について分かりやすく説明するためには、解剖生理や病理病態をしっかりと理解しておく必要があります。小児援助論を学習する過程で、関連する事項の解剖生理や病理病態について理解していくことは、次の小児看護学演習および小児看護学実習へと発展させていく際の大きな力となります。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
母性援助論 (83602000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	小坂 素子

①概要・ねらい

まず、妊娠・分娩・産褥各期における女性の身体的変化と心理的・社会的特徴、および新生児の生理について理解し、対象の健康を維持・増進するための看護援助について学ぶ。次に、各期および新生児について予測される健康問題を理解し、必要な看護援助について学ぶ。

（妊娠期）・妊娠による生理的变化

- ・妊婦の心理・社会的変化
- ・妊婦と胎児のアセスメント
- ・妊婦と家族への看護
- ・妊娠期における健康問題とその看護

（分娩期）・分娩の要素と機転および分娩経過

- ・分娩が母体、胎児に及ぼす影響と、産婦の心理・社会的変化
- ・産婦、胎児、家族のアセスメント
- ・産婦と家族への看護
- ・分娩期における健康問題とその看護

（産褥期）・産褥経過と褥婦の心理・社会的変化

- ・褥婦のアセスメント
- ・褥婦と家族への看護
- ・産褥期における健康問題とその看護

（新生児）・新生児の生理的特徴と胎外生活への適応過程

- ・新生児のアセスメント
- ・新生児に予測される健康問題とその看護

更に、女性のリプロダクティブ・ヘルスを実現するためには、女性が日常生活の中でヘルスプロモーションや疾病予防ができるように、セルフケア能力を高めることが重要である。このため、対象である女性の発達と健康について理解する。そして、ライフサイクル各時期に特有な健康問題を理解し、必要な援助について学ぶ。

②学習の到達目標

- 1) 妊産褥婦・胎児・新生児の正常な経過が理解できる。
- 2) 妊産褥婦の生理的・心理的・社会的変化、新生児の生理的变化に応じた援助の必要性が理解できる。
- 3) 妊産褥婦・胎児・新生児が正常な経過を過ごすための科学的根拠に基づいた援助について理解できる。
- 4) 妊産褥婦・家族への支援の必要性が理解できる。

③授業時間外の学習

使用テキストを熟読する。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

【テキスト修了試験の対策】

出題方法は、論述式、四肢択一式、穴埋め式等と取り入れる。試験では、「学習の要点」の22問から複数の関連する問題を出題する。

「学習の要点」の内容を理解し、それぞれについて要点をまとめておくようにする。また、テキストのみでは単位を修得することは困難なため、参考図書等を積極的に活用し、答案を作成することをお勧めする。

⑥教科書・参考書

教科書：森恵美 他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕母性看護学各論』医学書院

参考書：小林康江 他編著『ナースング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践』メディカ出版

荒木奈緒 他編著『ナースング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術』メディカ出版

⑦メッセージ

理解が深まる学習をしよう。

- ・教科書は専門用語が多い。繰り返し読む事で理解が深まる。
- ・学習した内容をノート整理する事で思考が整理でき理解が深まる。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
精神援助論 (83702000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	松原 渉

①概要・ねらい

精神看護学概論では、精神看護の対象を理解し、看護を展開するために必要な理論の概要と基礎知識を学んだ。精神援助論では、様々な障害の学習に加えて、精神障害を有する人の精神機能上の問題やセルフケアに及ぼす影響について理解し、患者の苦悩を理解したうえで、基本的な援助のありかたを考える。

臨床では、単に症状を理解するだけでは看護には至らない。対象者のセルフケアを行う上での精神機能上の問題を捉え、援助をしていくことが必要になる。ここでは次の事例演習の準備も兼ねて、精神を状況に合わせてコントロールする“自我機能の視点”で状態を捉える準備もしていく。そして援助では、個別的な関わりだけではなく、集団の力（集団力動）を活用した様々な援助方法についても学習をしてもらいたい。

また、精神障害者の環境からの影響を考えたときに施設症という問題がある。個人的自由が管理された環境のもとで、受動的な適応の結果としてもたらされやすい。病院や施設での規則や制限、管理的な関わりや看護者の態度等が、患者から様々な能力や可能性を奪いかねないという視点に立ち、望ましい関わりについて考える。

②学習の到達目標

1. 精神障害を有する人を、諸理論を用いて精神機能の問題と心理的苦悩の両側面から理解する。
2. 精神障害がセルフケアに及ぼす影響を把握し、援助の根拠と看護援助の基礎を理解する。
3. 薬物療法や集団療法など、様々な治療的介入方法を学ぶ。
4. 環境が患者に影響を及ぼすという視点に立ち、治療的環境について理解する。

③授業時間外の学習

精神を思うと、自分のおかれた環境や状況をどのように体験するのか？また、自分自身をどのように捉える傾向にあるのか？まずは患者の内的体験をイメージできることが鍵となります。テキストに記載されている症状の説明だけでは、患者の気持ちを理解することが困難です。従って、体験記を読まれることをおすすめします。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

レポート設題では、主要なものとして抑うつ状態の患者の看護、統合失調症の患者の看護、精神科病院に入院することのマイナス面を考慮した上での基本的な看護を取りあげたが、他にも精神看護の対象となる範疇は広い。

例えば、認知症等を含む器質性の障害、アルコールやドラッグ類等の精神作用物質使用による精神及び行動の障害、神経症性障害、ストレス関連及び身体表現性障害、パーソナリティ障害、摂食障害、発達障害、情緒障害等、それぞれの特性があり、治療・看護のポイントも違って来る。学習の要点も参考に幅の広い学習を要する。

⑥教科書・参考書

教科書：『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔1〕精神看護の基礎』武井麻子 他 医学書院

『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔2〕精神看護の展開』武井麻子 他 医学書院

参考書：『精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学』川野雅資 スーヴェルヒロカワ

『看護実践のための機能がわかる精神看護技術』山本勝則他 メヂカルフレンド社

『精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア』萱間真美 他 南江堂

『精神看護学Ⅱ 地域、臨床で活かすケア』萱間真美 他 南江堂

⑦メッセージ

成績評価の基準は、精神看護についての基礎的な知識の理解度および習得状況と、設問で問われている主題について要点をおさえて解答できているかが中心ですが、患者の内的体験を理解し、一人の人として尊重する姿勢も忘れないで下さい。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
在宅援助論 (83202000)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	西森有理子

①概要・ねらい

在宅看護概論で、在宅看護が必要とされてきた社会背景や在宅看護の理念および概念、在宅看護の役割と機能について学んだ。在宅援助論では、在宅看護の対象である個人やその家族を理解し、在宅看護技術の基本的視点を習得する。

在宅療養者の日常生活援助と在宅療養者の症状・状態に応じた看護、医療管理を要する在宅看護、訪問看護における指導技術、家族へのアプローチ、在宅での終末期（看取り期）などに関する内容を学ぶ。

(1) 在宅療養者の日常生活援助

在宅で療養する意味を理解し、日常生活を中心とした在宅看護援助の基本について学ぶ。

(2) 在宅療養者の症状・状態別の看護

在宅においてしばしば見られる在宅療養者の症状・状態別の状況を理解し、脳血管疾患、難病、認知症、感染症のアセスメントや援助方法など各々の在宅看護の実践について学ぶ。

(3) 在宅における医療管理を要する療養者への看護

在宅においてしばしば見られるような医療管理（在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、CAPD療法、ストーマケア、褥創ケア、経管栄養、吸引、疼痛コントロール）を要する在宅療養者の療養状況を理解し、各々の在宅看護の実践について学ぶ。

(4) 在宅におけるエンドオブライフケア

高齢者や末期癌患者の終末期の各段階における援助ニーズ、在宅での看取りの援助について学ぶ。

②学習の到達目標

在宅看護の対象である個人やその家族を理解し、対象者と家族のそれぞれが暮らしの中でその人らしい生き方に基づいた生活をおくるための援助の視点を習得する。

③授業時間外の学習

これまで在宅看護概論で学習した内容を、テキストや資料を見直し振り返る。在宅における看護の提供の場所、看護の対象者について、訪問看護を実施する上で重要な法制度など、基盤にして課題に取り組めるように学習する。基本的な援助技術をベースに、在宅看護の特徴を捉えた援助を考えることが大切である。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

これまでの学習の知識をもとに、疾患や主要症状に伴う苦痛や生活への影響、健康問題を理解する。そして、在宅療養がもたらす療養者の身体的・心理的影響、生活への影響を理解する。

【テキスト修了試験の対策】

「学習の要点」からも関連した問題を出題する。テキストだけではなく、参考書等も積極的に活用し学習して、修了試験に臨むようにする。

⑥教科書・参考書

教科書：河原加代子 他『系統看護学講座 統合分野 在宅看護論』医学書院 第5版

参考書：鈴木和子 他編「家族看護学 理論と実践」日本看護協会出版会

⑦メッセージ

成績評価の基準は、次のとおりです。

- 1) これまでの学習を生かし、在宅という生活の場での看護の特徴を理解しているか。
- 2) 療養者とその家族、他の援助者への支援を含めた情報のアセスメントと、看護援助が考えられているか。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
看護過程演習 (83103300)	テキスト科目 (レポート+試験)	1	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	丸岡 洋子

①概要・ねらい

『看護過程』（スクーリング）では、看護の対象のおかれた状況を把握し、求められるケアを導き、科学的根拠に基づく看護実践能力を身につけるために、看護過程の概念、および展開方法の基礎を学んだ。

『看護過程演習』では、紙上事例を用いた看護過程展開方法を学習し、問題解決に向かう思考過程を訓練しヒューマンケア能力を育成する。紙上事例は、看護過程展開に必要な能力「概念を扱うことができる能力、人間を扱うことのできる能力、仕事を果たすことができる能力」の習熟によって、看護における問題解決の実践能力を形成することを目的に2事例を構成している。

事例1では、十二指腸潰瘍の吐血下血により緊急入院という青年期の対象を通して、病態の把握と入院が対象に及ぼす心理・社会的状況を理解し、急性期における看護が展開できる事をねらいとする。

事例2では、障害の回復過程における患者の心理状態を理解し、生活の再構築に向けて看護が展開できることをねらいとする。

②学習の到達目標

- 1) 効果的なアセスメントができる。
 - ・疾患・障害や治療が対象の日常生活に及ぼす影響を踏まえてアセスメントできる。
 - ・対象の発達段階や固有の背景が療養生活に及ぼす影響を踏まえてアセスメントできる。
 - ・アセスメントを踏まえて看護問題の根拠が述べられる。
- 2) 看護計画の立案ができる。
 - ・看護問題に応じた解決目標、評価日の設定ができる。
 - ・看護問題を解決するための解決策が立案できる。

③授業時間外の学習

- 1) レポート作成前に既習の看護過程の教科書を熟読し、内容を理解して臨む。
- 2) 事例に示されている疾患の特徴や経過別（急性期・回復期）看護について学習する。
- 3) 『看護過程』（スクーリング）の学習内容を復習する。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」レポート合格後に受験するテキスト修了試験

⑤履修上の注意など

- 1) 事例に示されている患者の身体的・心理的・社会的特徴を踏まえて考える。
- 2) 根拠に基づいて自分の考えを述べる。
- 3) 別冊子「レポート設題集」の設題及びレポート作成上の留意事項・ポイントを踏まえて考える。

⑥教科書・参考書

教科書：坪井良子 編『考える基礎看護技術Ⅰ』ヌーヴェルヒロカワ

参考書：鎌田美智子 編『看護過程 基本と事例展開―看護実践の物語としての看護過程』日総研
専門分野、専門基礎分野で使用した教科書及び参考書をもとに学習する。

科目名（科目コード）	授業形態	単位	学年	卒業要件・資格取得要件区分		担当者名
看護管理 (83103700)	テキスト科目 (レポート+試験)	2	1	必修	看護師国家試験 受験資格取得必修	中野 順子

①授業の概要・ねらい

本講は、第1章「看護とマネジメント」、第2章「看護ケアのマネジメント」、第3章「看護サービスのマネジメント」、第4章「看護倫理」、第5章「医療安全」、第6章「災害時看護」、第7章「看護をとりまく諸制度」から構成している。

質の高い看護サービスを提供するための看護管理に関する「看護管理の概念」を学び、「看護の組織」「看護の人的・物的・財的資源」への理解を深め、そこでの「リーダーシップ」「メンバーシップ」「看護管理の機能」を学ぶ。看護管理の中心的要素である「看護マネジメントの概念」、具体的内容としての「リスクマネジメント」について学習し、「医療安全」について理解を深め、安全確保のための看護実践に必要な知識と技術を修得する。また、「看護管理」「医療安全」をとりまく今日的課題についての考察を促す。

②学習の到達目標

- 1) 看護管理学の構成要素について理解できる。
 - ①看護ケアのマネジメントについて
 - ②看護サービスのマネジメントについて
 - ③マネジメントに必要な知識・技術について
 - ④看護をとりまく法的基盤・諸制度について
 - ⑤人材、物的資源管理の役割と機能について
 - ⑥リーダーシップ、メンバーシップについて
- 2) 医療安全における、診療の補助業務と療養の世話における事故について理解できる。
- 3) コミュニケーションについて看護マネジメントと医療安全の視点から理解できる。
- 4) 看護倫理について看護者の倫理綱領の条文の理解ができる。
- 5) 災害時看護において、看護職の活動の場の理解と被災者のこころのケアを理解できる。

③授業時間外の学習

事前学習

- 1) 本シラバスと教科書を読み、理解するよう努める。
- 2) 別冊子「レポート設題集」の設題を熟読し、レポート作成の注意点も読み理解しておく。

事後学習

- 1) 実習や自施設における体験を学習内容と照らし合わせ理解を深める。

④成績評価方法・基準

修了試験	平常点	制作物・実技など	その他
100%			

「試験」：レポート合格後に受験するテキスト修了試験

【テキスト修了試験の対策】

基礎的な知識と理解を問うため、レポート作成の為に取り組んだ看護管理のテキスト学習を土台に学習し試験にのぞむこと。

⑤履修上の注意など

- 1) 前記〈事前学習に記した内容〉に沿って学習することにより、円滑なレポート作成、修了試験合格につながるため、この学習プロセスを経ること。
- 2) 質問は随時、質問票、CCNの質問機能を活用し積極的に行うこと。

⑥教科書・参考書

教科書：

- 1) 上泉和子他：系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践〔1〕看護管理、医学書院、2018.
- 2) 川村治子：系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践〔2〕医療安全、医学書院、2017.
- 3) 川村治子：医療安全ワークブック、医学書院、2017.

参考書：

- 1) 村島さい子、加藤和子他：ナーシング・グラフィカ基礎看護学②看護管理、メディカ出版、2008.
- 2) 川村治子編：JJNブックス 注射・点滴エラー防止 「知らなかった」ではすまない！事故防止の必須ポイント、医学書院、2007.
- 3) 杉谷藤子・川合政恵監修：『看護者の倫理綱領で読み解く』ベッドサイドの看護倫理事例30、日本看護協会出版会、2007.
- 4) サラ T. フライ・メガン-ジェーン・ジョンストン著、片田 範子・山本あい子訳：看護実践の倫理 第3版、日本看護協会出版会、2010.
- 5) 吉川洋子・杉谷藤子 監修：患者さんの声に学ぶ看護倫理、日本看護協会出版会、2010.

学校法人 玉田学園
神戸常盤大学短期大学部
看護学科通信制課程事務室

〒653-0838 兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2
TEL(078)611-3333(代) FAX(078)611-3343

学籍番号	
氏 名	